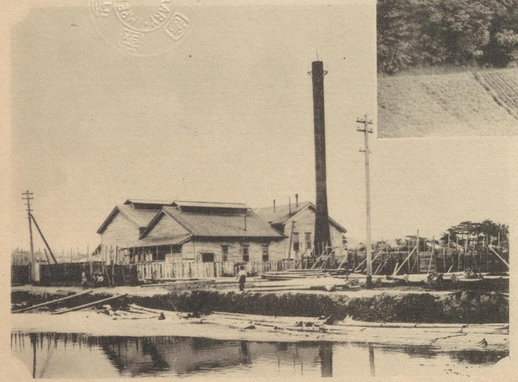
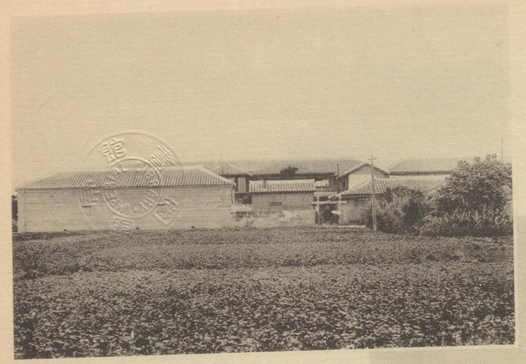
興儀商店

興平菓子店

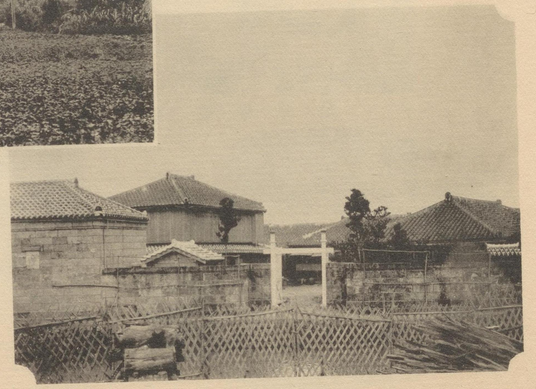
平尾氏別荘



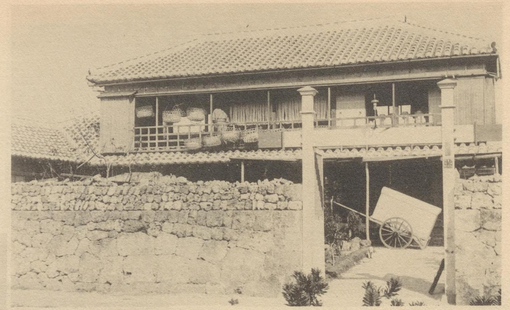
沖繩電氣株式會社



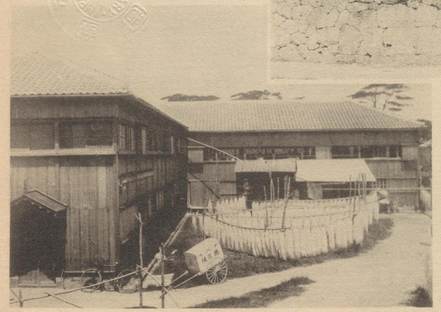
濱崎藤次郎製帽所



糸數製帽所



呈扶桑製帽所



共三組製帽所（二其）

共三組製帽所（一其）

ライジング商會

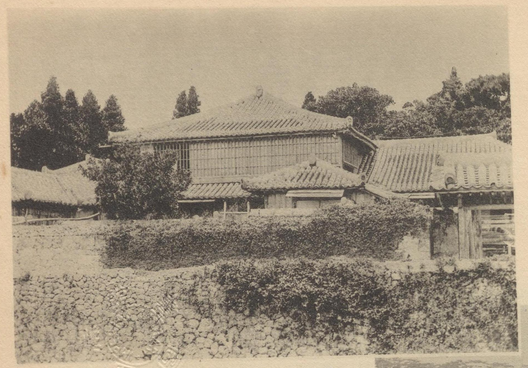
竹内製帽事務所

山之內帽子商店

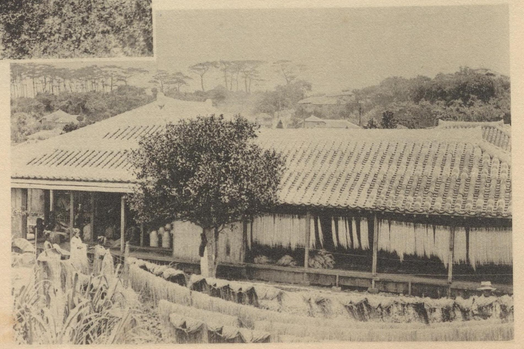
首里　宮城製帽所

首里柏醫院

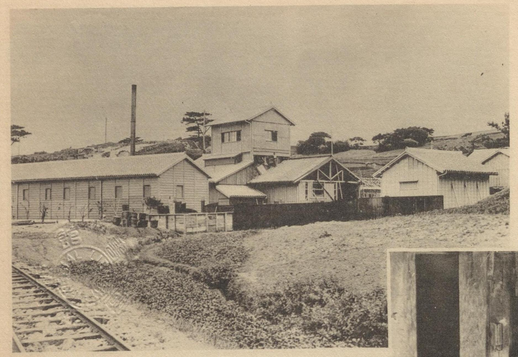
首里協成商會



首里義村組本店



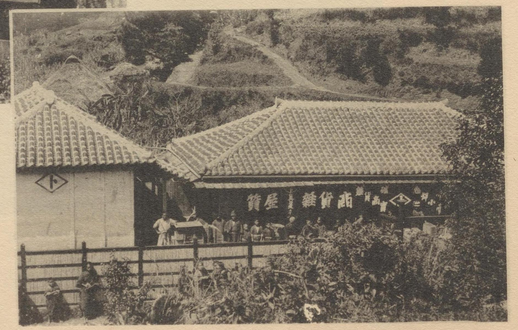
首里大正商店



赤司精酒釀造所

首里　宮城泡盛釀造所

今歸仁沖川　我謝商店

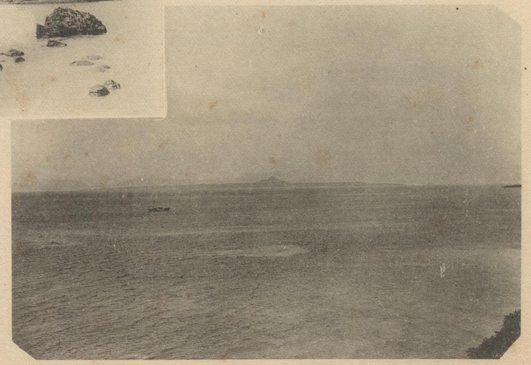


今歸仁沖川　眞榮城商店

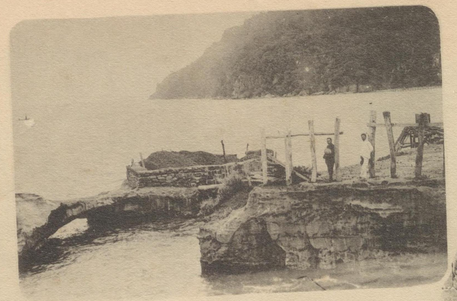
下吹越牛乳搾取所

宮古宮里商店

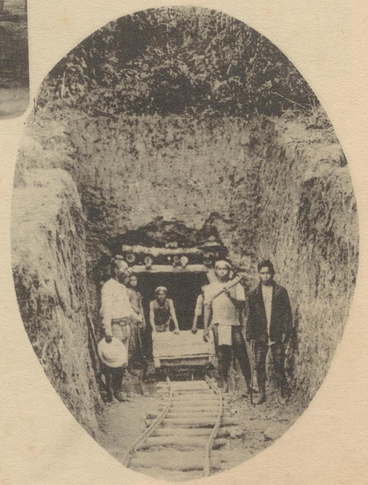
伊江島



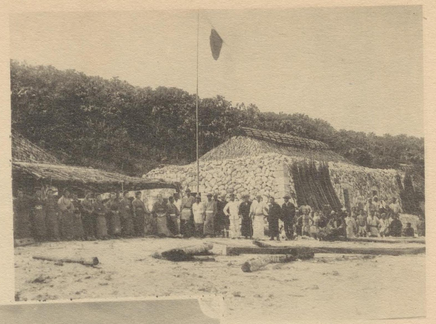
久米島

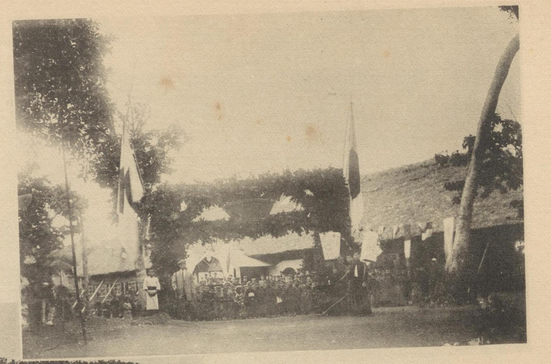


西表島炭坑



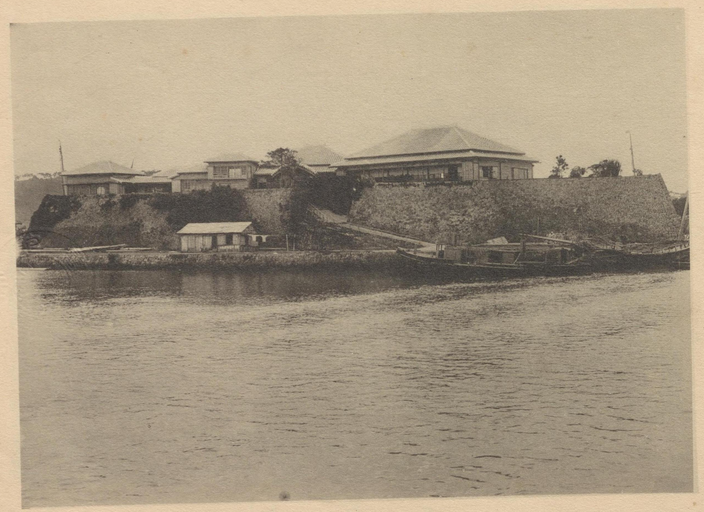
光關列島





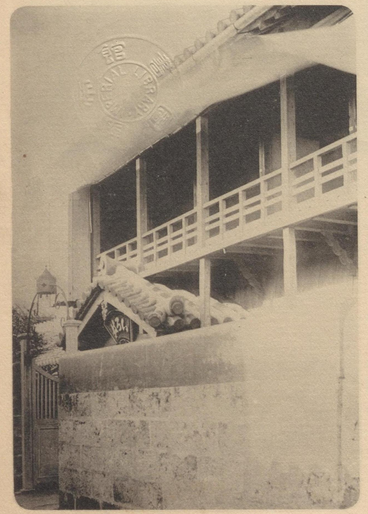
大東島小學校

サラ島燐鑛



樓　月　風

樓　月　花



い ろ は 樓

玉 川 樓

大正劇場

偕樂軒

大正生命保險株式會社
沖繩監督　千田直二

大正の曙光は遍く南島までも漲つて、沖繩の文物が遽に啓發せらるるようになつたのは、實に國家の奎運と謂はなければなるまい。由來我が沖繩縣は交通不便なる故を以て、他府縣に廣く紹介せられず、名實相伴はない觀があつた。今や那覇築港も落成し定期の航路も開かれたから、諸事百般面目を一新することと思ふ。殊に近來製糖、製帽の發展と諸鑛山の發見とは、企業家及び資本家の注意を拂ふこととなり、沖繩往來の旅客が著しく增加するようになつた。此に於てか余は微力を顧みず、職務の餘暇を以て、沖繩縣寫眞帖を發行し本縣の文化及び產業の狀態を紹介すると共に、大正盛典の記念とするとにした。さりながら一年有半を費し、大方諸彥の援助を蒙りしに關らず、充分材料を蒐集すること能はず、書畵、人物、風景の一部を次編に讓るようにしたのは唯だ編者の淺學菲才に因るので、實に憾みとする所である。さればこの缺點は第二輯に於て補充し、必ずや完璧を期する覺悟である。

神田鳴鳳館にて

大正五年十一月三日　　親泊朝擢

編者小照

大正六年八月五日印刷
大正六年八月十日發行

著作權所有

編輯者　沖繩縣那覇區上泉町二丁目四番地　親泊朝擢

發行者　沖繩縣那覇區松下町一丁目十四番地　小澤朝藏

印刷者　東京市京橋區西紺屋町二十七番地　佐久間衡治

印刷所　東京市京橋區西紺屋町二十七番地　株式會社秀英舍

發行所　沖繩縣那覇區松下町一丁目十四番地　小澤書店

茶商

製茶卸商 森龜次郎商店

沖繩縣那覇區西本町四丁目二十三番地

電話一五七 電畧(モ)又ハ(モリ)

台灣茶一手特約販賣

水年包種茶

半山茶

烏龍茶

紅茶

那覇區松下町一丁目八番地

名嘉山茶舖

(後ノ一)

砂糖肥料商

沖縄縣那覇區西新町三丁目十一番地

池田森吉商店

電話二三二番

電畧（イケ又ハ（イ）

（後ノ二）

合資會社

沖縄縣那覇區松山町一丁目三十九番地

ミカド帽子商會

出張所

合名會社

鈴木商店

那覇出張所

㊀

増田屋

安部幸兵衛

沖縄出張店

㊀

増田屋

増田増藏

沖縄出張所

（後ノ三）

沖縄縣那覇區
中田中彌吉
電話二三六番
電畧(タ)又ハ(タナ)

沖縄縣那覇區西本町四丁目
砂糖商 ㊂ 南崎豐吉商店
電話二四五番
電信略號(ミ)

臺灣白米 大連直航
大豆粕 外國米 取扱問屋
名古屋三井物産支店 黑糖仲介業
臺灣三井物産支店 取引店
那覇區西本町四丁目
タ 南洋商會

書籍文房具商
青山盛文堂

專賣特許第二八九號
東洋パナマ製造元
日本夏帽株式會社

沖繩那覇區西新町一丁目三番地

米穀肥料
泡盛砂糖
商　喜屋武商店

電話　二二〇
電信略（キ）

（後ノ六）

英國ライジングサン石油株式會社
石油 蠟燭
沖繩縣下一手特約販賣店

沖繩縣那覇區西本町四丁目

玉井商店

製茶、素麵卸
昆布、種子油、
其他雜貨商
永井吉太郎

電話　一六六番
電略（ナガ井又ハ（ナ）

內外米穀
砂糖、泡盛
素麵
卸商

沖繩縣那覇區西本町三丁目六番地

中馬支店

電話　三二番

砂糖反布昆布素麵
外米各種種子油太豆類
卸商

沖繩縣那覇區西本町四丁目六番地

協和商店

電略（カ子）又ハ（カ子ミ）
電話　四六

（後ノ七）

諸雜貨太物類
素麵米穀類

卸商

米國紐育スタンダード石油會社
沖繩縣特約販賣代理店

那覇區東町一丁目十七番地

藤屋

電話七六番

雜貨

卸商

那覇區大門前通

城間商店

電話二六八番

沖繩縣那覇區西本町二丁目十九番地

琉球名產
漆器製造

米次商店

電信略號(ヨ)又ハ(ヨネ)
電話番號　一六七番

(後ノ十)

土木請負業

前田朝一

本　店　大阪市南區鹽町通二ノ一

支　店　沖繩縣島尻郡高嶺村字與座

支店　出張所　那覇區西新町二ノ四六(電話一二七番

沖繩製糖株式會社

高嶺工場　沖繩縣島尻郡高嶺村字與座

宜野灣工場　同縣中頭郡宜野灣村字大山

(後ノ十一)

419
138